



Yokohama Arts Foundation

横浜美術館 市民のアトリエ

「ヨコトリ」関連のワークショップを開催 出品作品、参加アーティストを通じて美術に親しむ場を提供



カールステン・ヘラー、トビアス・レーベルガー、アンリ・サラ&リクリット・ティラヴァーニャ
《dreams that money can not buy》2016
Produced at STPI - Creative Workshop & Gallery, Singapore
© The Artists/STPI
Photo: Katariina Träskelin



畠山直哉《Terril #02607》2009,
Loos-en-Gohelle
@HATAKEYAMA Naoya



木下晋《掌握》2011

横浜美術館の市民のアトリエでは、3年に1度開催される現代アートの国際展、ヨコハマトリエンナーレ2017(2017年8月4日[金]～2017年11月5日[日]) (以下、ヨコトリ)に関連した以下の3つのワークショップを開催します。

これらのワークショップはヨコトリに出品される作品に関して、あるいはヨコトリに参加するアーティストを講師に招いて実施されるもので、参加者がヨコトリに出品されている作品を通じて美術に親しむ場を提供することを目的としています。

参加申込は横浜美術館ホームページ、または往復はがきで受付します。詳細は以下のウェブサイトをご確認ください。<http://yokohama.art.museum/education/citizen/program.html>

※各ワークショップの詳細に関しては別紙参照

- **優美なコラボレーション〈鑑賞と体験〉(8月27日[日]開催)**
ヨコトリに出品されるリクリット・ティラヴァーニャら4人のアーティストによるコラボレーション作品の鑑賞と体験を通じて、制作の“ひみつ”に迫ります。
- **畠山直哉・写真ワークショップ - Printmaking with Light 光でつくる版画**
(9月18日[月・祝]開催)
ヨコトリ参加アーティストである写真家の畠山直哉氏を講師に迎え、身近な素材と白黒印画紙を用い、暗室でカメラを使わない作品づくりに挑戦します。
- **木下晋・鉛筆画ワークショップ (10月8日[日]開催)**
ヨコトリ参加アーティストで、克明に描かれた鉛筆画で知られる木下晋氏の指導のもと、「自画像」をテーマとした鉛筆画に挑戦し、鉛筆の持つ表現の可能性とその魅力を体験します。

「みる」「つくる」「まなぶ」を理念に掲げる横浜美術館の市民のアトリエは、12歳以上の方を対象に(一部講座を除く)、年間を通じさまざまなワークショップ(実技講座)を企画・開催しています。参加者自ら制作を体験すること、またアーティストとの交流や制作の様子を実際に見ることなどを通して美術に親しむ場を目指しています。

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

お問合せ先 *本日は17時まで在席しております。

横浜美術館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

経営管理グループ グループ長 古賀

Tel 045-221-0307

広報・渉外チーム広報担当 鈴木、藤井、^{かいと}墻内、山崎 Tel 045-221-0319